

◆総合開発特別委員会

◇環境影響評価調査結果で論戦！

竹田 秀泰 委員長

苫小牧国際リゾート構想環境影響評価調査結果の報告を受け、今後の国際リゾート構想に対する考え方などについて多くの委員より質疑がありました。

また、米軍再編に伴う米軍機訓練移転および航空機部品落下事案、西港区汐見地区屋根付き岸壁の火災の概要と状況の報告、東胆振定住自立圏構想の厚真町との更新、CCS大規模実証試験の30万トン圧入終了に伴う事業の知見および今後についての報告に対し、各委員より質疑がありました。



調査対象区域図

その他として、北海道における空港経営改革の経過と今後のスケジュール、苫小牧港港灣整備事業予算および苫小牧港の港勢について報告がありました。

◆安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

◇避難所運営マニュアルを改定！

松尾 省勝 委員長

新型コロナウイルス拡散防止の観点から、3密対策として本委員会の会議は、本会議場で行われました。



3密を避け議場で開催

所管事項の報告は4件あり、王子製紙(株)苫小牧工場重油移送配管の廃止については、末広町から苫小牧工場までの移送配管に腐食箇所が発見され、大規模改修が必要になることから全線廃止が決定されたと報告がありました。

避難所運営マニュアルについては市は、北海道胆振東部地震の対応新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえた改訂を明らかにしました。

委員からは、備蓄計画の充実、ペットへの対応、期限切れ備蓄米の活用法などの質疑がありました。

■議会改革検討会

〈定数を現状維持の28人に決定！〉

全員協議会からの申し送り事項における次回市議会議員選挙の議員定数については、正副議長を除き、現状維持17人、削減7人、増員1人、保留1人となる全員協議会の意見集約を基に正副議長案が示され、現状維持の28人とする事が決定しました。なお、議員定数のルール化、常任委員会の数や複数所属、委員会視察や政務活動費などの経費削減については、今後も検討することが確認されました。

議会ICT化の推進では、実務者会議からの答申を受け、運用方法や導入機器、費用負担および予算要求の考え方が示され、引き続き検討事項はありますが、令和3年度の導入に向けて予算要求することが決定しました。

また、議会基本条例を制定した際に、議会活動に関する情報の積極的な公開および発信、ならびに市民意見の把握に努め、

広報広聴の充実を図ることを目的とした内容が盛り込まれました。市民との意見交換については、さまざまな手法がありますが、令和2年度については、秋頃に試行実施として、議会改革検討会のメンバーと市民団体との懇談を行い、今後の課題などを検討することが確認されました。

今後につきましても、スピード感を持って議会改革に取り組んでまいります。

